

もくじ

えび人 vol.96

2

文化会館

10

今号の表紙

3

相談

11

海老名市の給与・職員数の状況

4

図書館

12

子育て・HUGHUG赤ちゃん

14

「広報えびな」の共通マークとルール

📅日時・日にち

🕒期間

🕒時間

📍場所

👤対象

👤定員

📄内容

👤講師

💰費用

🎒持ち物

🏠その他

📅任期

📄条件

👤主催

📧Eメール

🌐ホームページ

📞問い合わせ

📄申し込み

📅予約制

📅祝日・振替休日を除く

🏠休み

👤高齢者対象の教室など

👤えびな健康マイレージ対象

市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」で届きます

市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

年末年始の閉庁日…12月27日～1月4日

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。
ご協力ありがとうございました。

題 字

えびな

上手になりたいので、頑張りました。
有鹿小学校 友定結希さん(10歳)

写 真

タイトル：ペDESTリアンデッキからのイルミネーション

撮影場所：海老名駅東口自由通路

撮 影 者：門沢橋在住
天野雄介さん

タイトル：ペDESTリアンデッキからのイルミネーション

撮影場所：海老名駅東口自由通路

撮 影 者：門沢橋在住
天野雄介さん

編集雑記

物事を見る高さや角度の視点が多いほど、想像力と創造力が高まるほど、広報編集や作成の動きは軽やかになる印象があります。広く深く物事を捉えられると、その分選択肢も増えます。私も歳を重ねましたが、まだまだ知らない世界はたくさん。今後も興味を持って視野を広げ、仕事に生かしていきたいです。(あ)

(写真上)娘と参加するドラムサークル。「音楽を通じて誰もが対等なのが魅力」
(写真中)若い世代の会員を増やすために、活動のパンフレットを作成
(写真下)市制施行50周年記念式典で。表彰を受けたことは良い思い出

りや、自閉症への理解の啓発活動が続けてきました。「その立場にならないと分からないことがある。もうちょっとお互い様になったらいいなと思いますね。誰にも迷惑をかけないで生きていける人っていないと思うので」
「助けてくれる人は必ずいるから、少しだけ勇気を出して」と、誰もが安心して過ごせる世界を願い、自らも手を広げて発信し続けます。

「自閉スペクトラム症の娘を育てる中で強くなりましたね」という長谷さん。「娘に伝わらない、手応えがない無力感に心が削られ、人の視線が刺さる生活もつらかったです。でも、この経験が今の私を作っています。思い描いていた人生とは違うけど、娘のおかげで世界が広がりました」と、これまでの体験を語ります。
「親が唯一できることは、子どもが少しでも生きやすい環境を整えること」と、長谷さんは幼児期から成人期まで一貫した発達支援が受けられる場所作

お互い様になっ
たらいいな

今月のえび人

ながたに りえ

長谷利江さん

(今里在住・58歳)

海老名市自閉症児・者親の会会長。海老名市立わかば学園に子どもを通わせる親同士でつくったNPO法人おおきな木の理事長を約10年務める。

3 広報えびな2025年12月15日号

広報えびな2025年12月15日号

2